

にじいろ & フレンズ

令和4年7月15日
NO.16

上越市クリーンセンターへ見学に行きました

社会科「ごみはどこへ」の学習で、上越市クリーンセンターを見学させていただきました。見学前に、教科書やインターネット等で調べ学習を行っていましたが、実際にごみ収集車がプラットホームに移動してごみを投入する様子や、ごみを燃やしやすいようにするためにクレーンでごみを持ち上げて落とし、ごみを混ぜる様子などを見ることができ、さらに理解を深めることができました。

見学後のワークシートには、「ごみをどうやって細かくするのか分かった。」「ごみピットに7日分のごみが入るのに驚いた。」「クリーンセンターでは発電もしていると分かった。」「24時間交代して休まないで作業をしていますすごい。」「クリーンセンターでは工夫してごみ処理をされている。」という記述がありました。また、ごみ処理の大変さを知り、「ゴミの出す量を少なくし、3Rなどをして、クリーンセンターの人を助けたい。」と、これから自分にできることを考える姿も見られました。毎日のくらしに大きくかかわっている「ごみ」について、改めて考え直す貴重な機会となりました。



水道出前講座を体験しました(7/11)



上越市ガス水道局の方から、水道出前講座を開催していただきました。普段当たり前のように使用している水が、どこから来て、どのように作られているのか、学ぶことができました。水をきれいにする実験も見せていただきました。水道水が様々な工程を経て作られていることが分かり、子どもたちは感心していました。クイズを交えながら楽しく講座を進めていただいたので、あっという間に時間が過ぎてしまいました。今回、教えていただいたことを、今後の学習につなげていきたいと思えます。

水をどうやってきれいにするか、どのくらい水を使っているか教えていただきました

浄水場で水をきれいにしているということが分かりました。

水にも消毒することを初めて知りました。

私たちが使っている水が、思っているより多かったです。

水をきれいにする実験を楽しみにしていたので、すごく勉強になりました。

これからは、水を大切にしたり、自分にできることをします。

<感想～子どもが書いたお礼状から～>